

# 島津創業記念資料館

高瀬川の最北端、木屋町二条。この地にある、いかにも京都らしい古い外観の建物。それが今回紹介する島津創業記念資料館だ。この資料館は、ノーベル化学賞を受賞した田中耕一さんでおなじみの島津製作所が創業100年を記念して設立したものだ。創業以来取り扱ってきた理化学器械をはじめ、貴重な文献や資料が時代・テーマ別に展示されている。

## 日本近代科学発祥の地

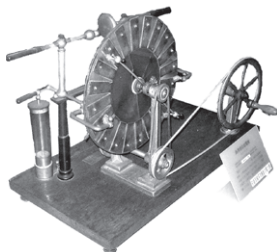
木屋町二条は、京都府が明治の初めに多くの実験所や工場を設立した、日本近代科学発祥の地である。創業者の初代島津源蔵がこの地で理化学器械の製造を始めたのは明治8(1875)年であった。その後、島津製作所は息子の二代目島津源蔵に引き継がれ、発展を遂げてきた。

現在本社は移転してしまっただが、初代が居住し店舗としていた建物が当時の姿のまま資料館としてその頃の雰囲気や今に伝えている。

## 「島津の電気」

展示物をいくつか紹介しよう。まずは「島津感应起電機」(写真1)。これは、二代目源蔵が明治17(1884)年に完成させたものであり、その後長い間「島津の電気」と呼ばれ実験などに利用されたものである。驚くべきことは、彼がこれを15歳という若さで完成させたことである。日本の10大発明家に選ばれたという彼の才能を感じさせる。ちなみに彼は他にも、日本で最初のX線写真の撮影に成功したり、現在では自動車用電池として有名なG S (Genzo Shimadzu) バッテリーを開発するなど、多くの功績を残している。

写真1 島津感应起電機



## 教育用理化学器械

次に紹介するのは、教育用理化学器械である(写真2)。左から「昼夜の長短説明器」「三角関数説明器」「驚き盤(ストロボスコープ)」。どの器械も科学現象を直観的に理解できるように工夫されている。CGなどの技術がなかった頃、子供たちはこのような器械を自分の手で動かして科学を学んでいったのだろう。こうした器械ひとつひとつにも日本の科学技術の発展過程が感じられる。

写真2 様々な教育用理化学器械



資料館には、これら以外にも昔のさまざまな実験用機器や医療用機器が展示されている。どれも日本の科学技術が発展してきた歴史を感じさせてくれるものばかりである。実際に足を運び、日本の科学技術が歩んできた道を実感してみてもどうだろうか。(じゃん)

京都 其の七十三 大  
ろろつきまわりんぐ

丸太町通  
二条通  
河原町通  
御池通

休館日  
水曜日・年末年始  
開館時間  
9:30~17:00  
入館料  
大人：300円  
中高生：200円

島津創業記念資料館

## かんたん Cooking

### 材料 (2人分)

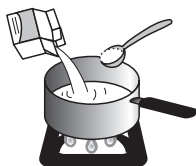
- ・生クリーム 1パック (200ml)
  - ・砂糖 大さじ2
  - ・粉ゼラチン 小さじ2
  - ・水 大さじ4
- ※粉ゼラチンは分量の水でふやかしておく

応用

③の段階でココア、抹茶などを加えてもおいしいです。

## パンナコッタ

所要時間…約10分+固める時間(1~2時間)



①なべに生クリームと砂糖を入れ、強火にかける。



③火を止めて②にふやかした粉ゼラチンを加え、溶かす。



②軽く泡立つ程度の沸騰状態を保ったまま、15秒くらい混ぜながら煮る。



④③を容器にうつし、粗熱を取る。固まるまで冷蔵庫で冷やす。

はみだし  
すてーじ

最近とても運動不足。運動したいけどするヒマありません。誰か代わりに運動してくれ〜。  
⇒よし! まかせろ! 代わりにレポート書いてくれ!

(農・院 あつげくん)  
(どちらのためにもなっていない編)